

●聖霊降臨主日

泉のほとり

今日の詩篇「第二編」

畏れ敬って、主に仕え

おののきつつ、喜び踊れ



心の目を開いて

キリストは復活され、弟子たちにご自身の姿を現されました。ところが、弟子たちは復活されたキリストを自分たちの目で直接見ても信じられなかったようです。キリストは彼らにご自身の手と足を見せられました。「触ってみなさい」とも言われたのです。更に焼いた魚をひと切れ食べる姿も彼らに見せられました。彼らが信じるようになるためです。それから彼らに「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだあなたがたと一階にいたころ、言っておいたことである」と語られました。そこでようやく弟子たちの心の目は開かれて、「キリストが必ず苦しみを受けて死に、三日目に復活する」との聖書の預言が実現されたことに気づいたのです。ルカはこの事をキリストが彼らの心の目を開いて悟らせた(ルカ24:45の節)と伝えていきます。彼らは聖書が証している「復活」も、その「神の力」をも見る心の目を持っていませんでした。三年もの間キリストについて来た弟子たちです。その彼らにようやく心の目が開かれて、聖書が語ってきた「苦しみを受けて死んでよみがえるキリスト」を見るようになったのです。

ユダヤの人々はキリストが来られると、邪悪なこの世、問題の多いこの社会が平和になる、ローマの支配から、この世の悪の力から解放されて、自由になることを期待していました。「私の罪」のために苦しみを受けて死ぬキリストを見ることにおいては

盲目だったのです。聖書の預言はそのキリストを宣べ伝えていたのに！

弟子たちも「必ず苦しみを受けて死ぬ」。しかし三日目に復活する」と語られたキリストの言葉の意味がまったく分かっていませんでした。そのキリストは彼らが期待していたキリストではなかったからです。聖書から、またキリストの言葉から、私を罪から救うキリストを見出すことも、見ることもできなかったのです。長い間キリストと共にいながら。彼らも自分たちの願いが作り出したキリストを待ち望み、期待して、見ていたのです。

私たちが「今」見ているキリストは、必ず苦しみを受けて死に、三日目に復活する」と言われたキリストでしょうか。聖書はそのキリストを証しています。心の目が開かれた弟子たちはもはやそのキリスト以外は見ることがなかったのではないのでしょうか。そして彼らはそのキリストのみをあらゆる国の人々に宣べ伝えていたのでしょうか。

心の目が自分の罪を見る者、またそれゆえに苦しみを受けて死んでよみがえられた、今は天におられる「そのキリストのみ」を見る者は幸いです。弟子たちの心の目を開いてくださったキリストの力が純い私の心をも開いてくださいますように。そうして、キリストをよみがえらせた神の力をはっきりと見ることができま

(ルカ二四・四四〜五二)

祈り

○主イエス・キリストの父なる御神、あなたはみ子イエスをわたし共のところに遣わしてください、わたし共を神の子として選び、新しく生きる道を拓いてくださいました。今、主イエスがわたし共に先立って祈ってください、わたし共の礼拝を受け入れてくださることを信じて、この日の礼拝を始めることができ、感謝いたします。

僅か七日の間にも、わたし共の信仰の目は曇り、主の御姿を見失うことしばしばであり、わたし共の耳塞がれてみ言葉が聞こえなくなることしばしばでありました。あなたへの讃美と人々への祝福を語るかわりに、あなたが許してはおられない言葉を口にするようになってしまいました。今、そのことをみ前に思い起こし、罪を認めざるを得ない者であります。わたし共が傷つけてきた人々を、またたとえその人が傷ついていなくても、わたし共が心の中で恨んだ人々を思い起こすことができますように。あなたが備えていてくださる、罪よりの解放の道に喜び勇んで立つことができますように。罪を知る悲しみと、それに勝つ信仰を与えていただくことができますように。

健康を害している者がたくさんいます。その中でわたし共がここに来る信仰を与えられていることを、自分の幸せだ

けを求めるのではなく、人々のために祈りを献げるよすがとすることがありますように。この国のために、この世界のために祈ることがありますように。無益な血が流れていますが、惜しみの心がなお血を流させるといふ悪かな行為をしてしまっています。どうぞ、そのような世界のただ中において、わたし共の教会が、全世界の教会が、平和を作るために立たされていることを、そこにあなたから与えられた使命があることを思い起こすことができますように。

この国の各地で礼拝を献げている主の群れのために祈ります。貧しさの中で望みを失いがちになる者たちを励ましてください。愛の労苦に推折し、立ちすくんでしまう者たちに光を見出させてください。さまざま迷いごとに教会が惑わされることなく、み言葉に導かれて立ちゆくことができますように。全世界の教会を止しく立たせてください。今、わたし共の教会を、み言葉の真理をもって立たせてくださいますように。そのための礼拝であることをわきまえさせてください。そこから生まれる真実の平安の中に立たせてください。わたし共が遣わされて行くところいずこにおいても、信仰と愛の証しを立てることがありますように。

主イエス・キリストの御名によって、感謝し、祈り願います。アーメン

(加藤常昭「み前にそそぐ祈り」より)

今日のお知らせ

○今日はペンテコステ礼拝です。聖霊がこの地上に来てくださり、教会を誕生させてくださったことを記念して礼拝を献げます。

○礼拝後、教会学校がペンテコステを祝う会をします。

○正午からホールで、ペンテコステを祝う会をします。

○引き続き愛餐会で昼食を共にします。今日のメニューは、タンポドリチキンと温野菜、さっぱり野菜サラダ、ミネストローネ、フルーツ、ご飯です。御期待ください。

○午後二時から礼拝堂でチャリティーコンサートがあります。音楽伝道師の紫蓮香姉の他、聖歌隊指揮者の藤本敬三兄も出演します。多数の方々のお来場を歓迎いたします。

○八日(木)幼稚園の遠足があります。船橋にあるアンデルセン記念公園へ行きます。

○八日(木)お昼の時間に、古村牧師は明治学院大学白金キャンパスの礼拝で奉仕をします。

○九日(金)朝一時からシオンの会があります。ハイデルベルク信仰問答の問九六〜九八の学びをします。新しい方々の参加を歓迎します。

四国だより

春さきの芽吹き、緑の美しさには思わず息をのむほどです。大自然の中に生かされていることを実感し感謝する毎日です。謹んで四月の牧会報告をお送りいたします。

御恵みに守られて牧会に励んでおりま
す。四月三十日の礼拝にはキリスト品川
教会員の樋口芳子姉とご子息の滋信兄が
ご出席され皆で大喜びとなりました。練
馬区に住んでおりました時、区の手話講
座の学びで初級、中級、上級をご一緒し
ました。親しくさせて頂いてた中で、我
家にお招きし幸いな福音をお伝えしたの
でした。ご主人様が不動産のお仕事なの
で、樋口さんはお電話番として日曜日は
絶対外出が出来ないご様子でした。私が
通っていた教会の近くにお家がありまし
たので、毎週その道を自転車で過ぎる2
0秒を主に祈り続けました。「主よ、ど
うか樋口さんの靈魂をお救い下さい。主
の御愛を通して樋口さんをお救い下さ
い」。そして数年が過ぎ去りました。教
会へ通う特別な道にさしかかると毎週こ
の祈りをしました。必ず主がお救い下さ
ると信じて！

そしてある朝、樋口さんを礼拝堂の中に
見たのでした。笑顔で走り寄って来られた
樋口さんを見て、とても驚き喜びが溢れて
きました。その時以来、主によって私たち
は信仰の道を共に歩ませていただいております。

私が品川教会に導かれ間もなく樋口さん
も転会されて同じ礼拝堂で同じ説教の御忠
みのもとで育てていただく事になりました。

その後、私は開拓伝道へ四国へ。ご子息
の滋信兄も受洗され、恵みの日々の中で今
回通ったご来訪となりました。全ての時
を最善の方向へお導き下さり、不思議なる
御憐れみを注ぎ続けて下さった主の聖名を
よるこびたええます。小さき私共の群れの
為にいつも尊いとりなしのお祈りをいただ
きとでも励まされております。皆さまに感
謝しつつ主のうるわしき祝福が豊かに注が
れあふれます様、心よりお祈り申し上げて
おります。

二〇一七年五月十五日 田端良恵

聖書の会へどうぞ

6月7日(水)

●朝の聖書の会(10時)

「打ち傷を洗ってやり」

使徒16章25〜34節

黄允泥 副牧師

●聖書の夕べ(19時)

「主の僕として生きる」

ルカ19章11〜27節

吉村和雄 牧師

ミニコンサート

6月8日(木) 12時30分

「動物の謝肉祭」より水族館 他

ハンドベル演奏

次週礼拝

●第1礼拝(午前9時30分)

讃美歌 讃21 363番

説教「希望と誇りに生きて」

聖書ローマ5章1〜5節

説教者 吉村和雄 牧師

●第2礼拝(午前11時10分)

讃美歌 67番 353番

詩編 第2篇

説教「祈るときは」

聖書マタイ6章5〜8節

説教者 黄允泥 副牧師

312番





ペンテコステ礼拝

(午前10時)

讃美歌 180番

66番

説教 「キリストの霊を受けて」

聖書 ローマ8章8～17節 (新約P284)

司式者 ・聖餐司式 黄 允湜 副牧師

説教 吉村和雄 牧師

前奏曲 「来ませ創造主なる聖霊よ」 J.S.Bach

○ 讃美歌 180番(全節)

1. はとのごと降る めぐみのみたまよ
 ころをやわらげ なぐさめたまえや
 2. まことのひかりを われらにてらして
 ひかりのなかをば あゆませたまえや
 3. ちちなるみかみの みまえをはなれず
 つつしみうやまい いのらせたまえや
 4. いのちのみちなる 主イエスにしたがい
 みあとをふみつ つすませたまえや
 5. われらをきよめて さかえのみにの
 つきせぬめぐみを うけさせたまえや
- アーメン

○ フルートによる讃美

「協奏曲「ごしきひわ」より第2楽章」 A.Gayfard

○ 聖歌隊による讃美

「主よくだりたまえ」 S.ペテル 藤木敏三訳

来たりたまえ この日

くだりたまえ 聖霊よ

御名により集い 主とほめたたえ

我が主のいのちは我らに満ちる

与えられし全て 信じ日ごとに祝福を祈る

そして我ら願う

来たりたまえ この日

くだりたまえ 聖霊よ

主の家族としてひとつの心

あなたの救いを喜び受ける

祝福をたまえ幼子たちに

若きもの老いたる者ら全てに

来たりたまえ この日

くだりたまえ 聖霊よ

主よ 来たりたまえ この日

くだりたまえ 聖霊 我らに

主よ 我らに

○ 讃美歌 66番(全節)

1. 聖なる 聖なる 聖なるかな
 三つにいまして 一つなる
 神の御名をば あさまだき
 おきいでてこそ ほめまつれ
 2. 聖なる 聖なる 聖なるかな
 神のみまえに 聖徒らも
 かむりをすてて ふしおがみ
 みつかいたちも み名をほむ
 3. 聖なる 聖なる 聖なるかな
 罪ある日には 見えねども
 みいつくしみの 満ちたれる
 神のさかえぞ たぐいなき
 4. 聖なる 聖なる 聖なるかな
 み手のわざなる ものみなほ
 三つにいまして 一つなる
 神の大御名 ほめ奉らん
- アーメン

聖餐曲 「パン」 ユナイター

後奏曲 「フーガ変ホ長調」 J.S.Bach

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。